時事新報

左れ一編は森下岩楠氏が米國の新聞より抄譯し去る十七日横濱商法學校に演述したるものにして其所記往々我商賈社會の參考に心得ともなるべきものの多からざれば賈ふみしに掲載して社説に代ふ

米國富豪

北米合衆國の都府經濟界なるウォル街に三大豪商ありワニイ グール、ルオッセル セーヴ、及びヒフス ダブルユー フキールド と云ふ此三氏は孰れも田舎に生長したる人にして始めて商場に就きたる時は一弗の金さへ惜しみにすることなりしも今は既に數百千萬弗の產を成す而して其財產は悉く自己の勤勞と以て造りたるものにして一人として他人より賈ひ受けたるものにあらず グール及びセーヴの兩氏は生れおがらにして商賈の才に富み實業に熟事してより其才益々進歩して廣く世界の富豪を極めさりフキールド氏も素より新の知き老練なりにはあらざれども其心事自から勤儉の存して兩氏の知く節儉なる氏に常に美術を愛び洪大義侠ある度量を作りて所謂の名書など甚だ多し且好んで奇際と廣くして人を接遇し交人に誠意を受ると以て快樂とせり氏は高貴なる家賈を受ける人にて博く哲學を修め政事學藝及び宗教の事に就ても夫々自家の識を有し殊に勤儉に熟心して小說を讀むを以て平常消閑に實に供すと云ふ グール氏は商賈一偏の人にして其財產は一億弗の以上もあるよしなれども一弗の金と雖ども得るが爲めに勞働する其態は經濟界中等常一般の人に異なるとなし之を反して フキールド氏は最早グール氏の如く金を得るまでに齷齪せず其財產は二千五百萬弗に達て從來の生活は甚だ恬淡なるものなりしとも今い已に其增殖に孜々勉勵をなしたることを止め寧ろ身を安樂の地位に置て人生の行路を易々間中に處し得たるものゝ如し之に引替へセーヴ氏は米國中比類なき勉强家にして其商賈時間中の勉强の如きい如何なる職工と雖ども遠く及ばざる程なり氏は已に其頭髮に雪を戴くに至りたるも靈鍊として恰も壯年の血氣に富み其理財に於て一弗の金は如何なる價値あるものなるかを玩味細別し能く之を無駄なく使用して徒費せざるの才幹は何人も氏に及ぶものなかるべし氏い小人なり或る惡評を なすものあれども此評之全く無稽の放言にして氏い素よと與ムべき價値ある人に金を與ムると吝む者にあらず唯苟もせざるのみ心身屈强にして事に當上可き人を見て、徒に己が財產と謂て死恰も富めるに續くが如き惡與は氏の爲さざる所なり氏の財產は悉く一己の勞力を以て造出したるものなると以て能く其眞價を知り大なる理財の事業を執るに當り深切に之を取扱ふ其極は事を以て最親の朋友殿に渝しき壯觀と餘び金を以て賜び得べきものは悉く之を與めて素封を極め、外ふ向て他人との交際に風采秀麗にして一遊一遊の節度に適する其態い識式の師範の如くにして貴婦人なせに接するにも頗る愛嬌ありて其事業恰も男中の美人とも稱す可ものが處を得て家庭に於ては